

# 米国小型株サステナブル グロース・ファンド (愛称：ダイヤの原石)

## 運用報告書 (全体版) 第8期

(決算日 2023年8月15日)

(作成対象期間 2023年2月16日～2023年8月15日)

■信託期間終了日を2029年8月15日から2050年8月15日に変更する予定です。(変更予定日：2023年11月9日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2019年12月2日～2029年8月15日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	米国小型株サステナブルグロース・マザーファンドの受益証券
	米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	株先物比率	純資産額
	(分配落)	税金 込分 配金	期騰 落 中率			
4期末 (2021年8月16日)	円 12,217	円 700	% △ 5.8	% 94.4	% -	百万円 21,000
5期末 (2022年2月15日)	11,391	0	△ 6.8	93.1	-	23,117
6期末 (2022年8月15日)	12,351	20	8.6	97.0	-	21,170
7期末 (2023年2月15日)	11,673	300	△ 3.1	95.1	-	17,303
8期末 (2023年8月15日)	12,641	250	10.4	93.2	-	15,193

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

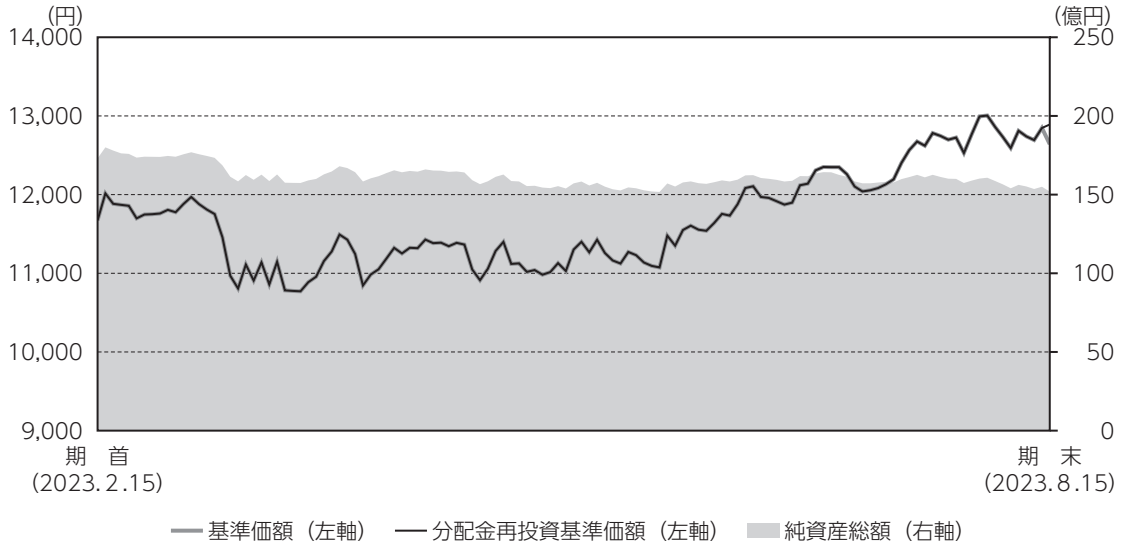
(注3) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,673円

期末：12,641円（分配金250円）

騰落率：10.4%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

為替市場において米ドルが対円で上昇（円安）したことに加え、米国小型株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国小型株サステナブルグロース・ファンド

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期首) 2023年2月15日	円 11,673		% -	% 95.1	% -
2月末	11,760		0.7	94.4	-
3月末	11,277	△	3.4	97.6	-
4月末	11,057	△	5.3	94.4	-
5月末	11,137	△	4.6	93.3	-
6月末	12,308		5.4	93.8	-
7月末	12,767		9.4	92.7	-
(期末) 2023年8月15日	12,891		10.4	93.2	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023.2.16~2023.8.15)

### ■米国小型株式市況

米国小型株式市場は上昇しました。

米国小型株式市場は、当作成期首より2023年3月半ばにかけて、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しました。しかしその後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の伸びの鈍化などが好感されて7月にかけて大幅に上昇しました。当作成期末にかけては、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから下落しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、堅調な米国の経済指標を受けて、当作成期首より円安米ドル高が進みましたが、2023年3月には、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下し、下落（円高）に転じました。しかしその後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落しましたが、当作成期末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げに対して否定的なコメントをしたことをきっかけに米国金利が上昇し、さらに円安米ドル高が進みました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。景気後退への懸念はしばらく上値抑制要因として残ると考えていますが、これまでと変わらず、競争力を維持でき、バランスシートが健全な企業に投資することが重要だと考えます。このような企業が、やがてインフレが収まり、経済が成長に向かうタイミングでは良好なパフォーマンスを生むと考えています。長期的な視点で、競争優位性をより精査して投資していきたいと考えています。

## ポートフォリオについて

(2023.2.16~2023.8.15)

## ■当ファンド

「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率は高位を維持しました。

## ■米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。業種では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターなどを高位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年2月16日 ~2023年8月15日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>250</b>
対基準価額比率	(%)	1.94
当期の収益	(円)	250
当期の収益以外	(円)	-
翌期繰越分配対象額	(円)	2,641

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	27.75円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	✓	587.66
(c) 収益調整金		2,229.15
(d) 分配準備積立金		46.48
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,891.05
(f) 分配金		250.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,641.05

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドでは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。景気後退への懸念は薄れつつあると感じていますが上値抑制要因として残るため、これまでと変わらず、競争力を維持でき、バランスシートが健全な企業に投資することが重要だと考えます。このような企業が、やがてインフレが収まり、経済が成長に向かうタイミングでは良好なパフォーマンスを生むと考えています。長期的な視点で、競争優位性をより精査して投資していく方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.2.16~2023.8.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	113円	0.971%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,688円です。
(投 信 会 社)	(67)	(0.573)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.017	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.017)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	117	1.000	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

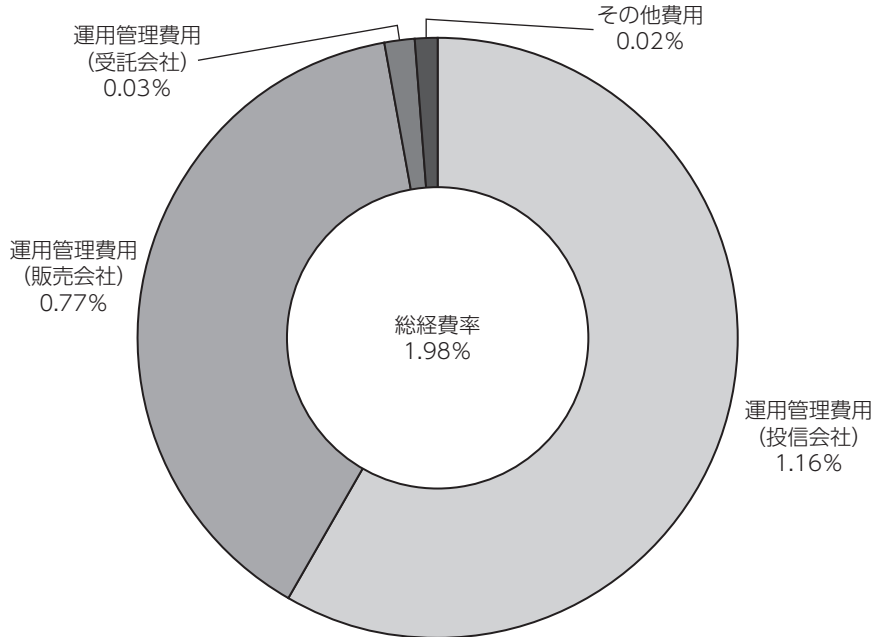
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年2月16日から2023年8月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	229,601	360,000	2,509,054	3,999,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年2月16日から2023年8月15日まで)

項 目	当 期
	米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,556,507千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,293,571千円
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.29

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	11,103,895	8,824,442	15,168,334

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	15,168,334	96.2
コール・ローン等、その他	596,603	3.8
投資信託財産総額	15,764,937	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝145.60円です。

(注3) 米国小型株サステナブルグロース・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,206,092千円）の投資信託財産総額（15,272,626千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,764,937,888円
コール・ローン等	493,603,364
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド(評価額)	15,168,334,524
未収入金	103,000,000
(B) 負債	571,804,184
未払収益分配金	300,471,954
未払解約金	114,113,551
未払信託報酬	156,778,378
その他未払費用	440,301
(C) 純資産総額(A－B)	15,193,133,704
元本	12,018,878,160
次期繰越損益金	3,174,255,544
(D) 受益権総口数	12,018,878,160口
1万口当り基準価額(C/D)	12,641円

\* 期首における元本額は14,823,155,999円、当作成期間中における追加設定元本額は672,487,430円、同解約元本額は3,476,765,269円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,641円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年2月16日 至2023年8月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 30,008円
受取利息	5,041
支払利息	△ 35,049
(B) 有価証券売買損益	1,611,960,862
売買益	1,792,403,308
売買損	△ 180,442,446
(C) 信託報酬等	△ 157,218,679
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,454,712,175
(E) 前期繰越損益金	△ 659,177,661
(F) 追加信託差損益金	2,679,192,984
(配当等相当額)	( 2,656,552,833)
(売買損益相当額)	( 22,640,151)
(G) 合計(D + E + F)	3,474,727,498
(H) 収益分配金	△ 300,471,954
次期繰越損益金(G + H)	3,174,255,544
追加信託差損益金	2,679,192,984
(配当等相当額)	( 2,656,552,833)
(売買損益相当額)	( 22,640,151)
分配準備積立金	495,062,560

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 51,994,488円(未監査)

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	33,361,692円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	706,305,488
(c) 収益調整金	2,679,192,984
(d) 分配準備積立金	55,867,334
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,474,727,498
(f) 分配金	300,471,954
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,174,255,544
(h) 受益権総口数	12,018,878,160□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 ( 税 込 み )	250 円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■ファンド名称の変更について

以下の通りファンド名称を変更する予定です。（変更実施日：2023年11月9日）

現行	変更後
米国小型株サステナブルグロース・ファンド	米国小型株グロース・ファンド
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	米国小型株グロース・マザーファンド

■信託期間の延長について

信託期間終了日を2029年8月15日から2050年8月15日に変更する予定です。（変更予定日：2023年11月9日）

# 米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド

## 運用報告書 第4期（決算日 2023年8月15日）

（作成対象期間 2022年8月16日～2023年8月15日）

米国小型株サステナブルグロース・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

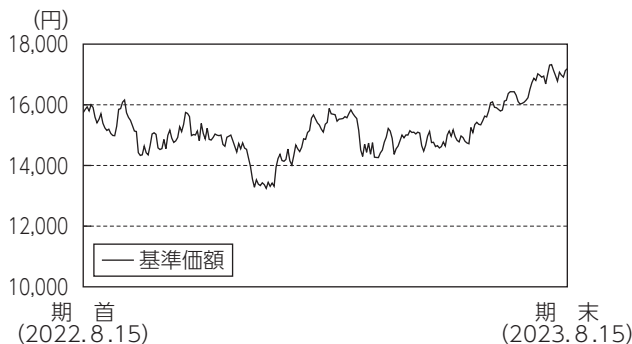
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額 円	騰落率 %	株式組入率 %	株式先比率 %
(期首) 2022年 8月15日	15,744	-	97.3	-
8月末	15,154	△ 3.7	96.5	-
9月末	14,420	△ 8.4	96.9	-
10月末	15,748	0.0	97.0	-
11月末	14,633	△ 7.1	97.0	-
12月末	13,445	△ 14.6	96.7	-
2023年 1月末	14,860	△ 5.6	96.2	-
2月末	15,548	△ 1.2	95.9	-
3月末	14,933	△ 5.2	97.6	-
4月末	14,664	△ 6.9	94.2	-
5月末	14,798	△ 6.0	93.0	-
6月末	16,372	4.0	93.2	-
7月末	17,007	8.0	92.6	-
(期末) 2023年 8月15日	17,189	9.2	93.4	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。  
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】  
 期首：15,744円 期末：17,189円 騰落率：9.2%  
 【基準価額の主な変動要因】

保有している米国小型株式はほぼ横ばいで推移しましたが、為替市場において米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国小型株式市況

米国小型株式市場は横ばいで推移しました。  
 米国小型株式市況は、予想以上にインフレ率が高止まりし、景気見直しに対する懸念が高まったことから、当期中期首より軟調に推移しました。その後、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感され、2022年11月にかけて反発しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率が鈍化したことでF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待が高まり上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上

限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の伸びの鈍化などが好感されて7月にかけて大幅に上昇しました。当期中期末にかけては、長期金利が上昇したことやF R B高官発言への警戒感が高まったことなどから下落しました。

○ 為替相場

米ドルは対円で上昇しました。  
 米ドル対円為替相場は、当期中期首より、日米金利差の拡大により円安米ドル高基調が続きました。2022年10月には、日本政府・日銀が円買い介入を実施する局面もありましたが、影響は限定的で円安米ドル高基調が続きました。11月に入ると、インフレ率鈍化への期待から米金利が低下したことで、円高米ドル安に転じました。12月には、日銀が想定外の政策修正を行ったことで、さらに円高米ドル安が進みました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで円安米ドル高が進むと、その後も堅調な米国の経済指標を受けて、円安米ドル高傾向が続きました。3月には、信用不安の拡大により米金利が大きく低下し、下落（円高）に転じましたが、その後は、経済指標の上振れなどを背景に米金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。7月に入ると、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落しましたが、当期中期末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げに対して否定的なコメントをしたことをきっかけに米金利が上昇し、さらに円安米ドル高が進みました。

◆ 前期中期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。今後は、金融引き締め局面がしばらく続くと同様懸念され、小型株内での銘柄の取捨選択が進むと予想されており、利益成長と予想されるハイクオリティ企業を見極めることが重要な局面にあるとみています。十分強固な財務体質を有する企業、自ら創出するキャッシュフローで成長投資を行うことができる企業、独自のビジネスモデルで高い利益率を実現できる企業へ投資を行う当戦略は、優位性を発揮するものと考えます。

◆ ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しております。当期中期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。業種では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターなどを高位としました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

当ファンドでは、持続的な競争優位性をもつ企業にフォーカスして運用しています。景気後退への懸念は薄れつつあると感じていますが上値抑制要因として残るため、これまでと変わらず、競争力を維持でき、バランスシートが健全な企業に投資することが重要だと考えます。このような企業が、やがてインフレが収まり、経済が成長に向かうタイミングでは良好なパフォーマンスを生むと考えています。長期的な視点で、競争優位性をより精査して投資していく方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	7円 ( 7)
有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)
その他費用 (保管費用) (その他)	5 ( 1) ( 4)
合 計	12

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況  
株 式

(2022年8月16日から2023年8月15日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 5,655.77 (△2,182.87)	千アメリカ・ドル 13,554 (△ 3,080)	百株 30,019.46	千アメリカ・ドル 62,903

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄  
株 式

(2022年8月16日から2023年8月15日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
NCINO INC (アメリカ)		117.059	450,674	3,849	HEICO CORP-CLASS A (アメリカ)		39.25	752,134	19,162
OLO INC - CLASS A (アメリカ)		293.164	345,519	1,178	AVALARA INC (アメリカ)		43.04	590,426	13,718
MORNINGSTAR INC (アメリカ)		10.619	278,450	26,221	AUTOHOME INC-ADR (ケイマン諸島)		124.725	577,860	4,633
MARKETAXESS HOLDINGS INC (アメリカ)		7.032	247,799	35,238	RYAN SPECIALTY HOLDINGS INC (アメリカ)		90.798	540,792	5,955
SERVISFIRST BANCSHARES INC (アメリカ)		23.07	217,458	9,426	FOX FACTORY HOLDING CORP (アメリカ)		34.327	502,485	14,638
REVOLVE GROUP CLASS A INC (アメリカ)		44.875	153,261	3,415	GROCERY OUTLET HOLDING CORP (アメリカ)		85.895	402,387	4,684
U.S. PHYSICAL THERAPY INC (アメリカ)		10.182	122,114	11,993	AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR (イギリス)		1,560.006	392,020	251
HOLLEY INC (アメリカ)		53.976	46,174	855	AAON INC (アメリカ)		34.138	384,974	11,277
INTERACTIVE BROKERS GRO-CL A (アメリカ)		1.6	18,728	11,705	BILL HOLDINGS INC (アメリカ)		20.985	351,883	16,768
RYAN SPECIALTY HOLDINGS INC (アメリカ)		2.5	13,705	5,482	INTERACTIVE BROKERS GRO-CL A (アメリカ)		30.517	342,818	11,233

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AUTOHOME INC-ADR	1,247.25	-	-	-	コミュニケーション・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	109.28	71.17	3,027	440,835	金融
INTERACTIVE BROKERS GRO-CL A	892.61	603.44	5,618	818,072	金融
MORNINGSTAR INC	275.55	278.35	6,095	887,557	金融
MARKETAXESS HOLDINGS INC	101.28	118.66	2,812	409,445	金融
PRICESMART INC	194.49	149.79	1,152	167,867	生活必需品
AAON INC	971.97	630.59	6,068	883,617	資本財・サービス
SPS COMMERCE INC	299.89	200.84	3,499	509,576	情報技術
SERVISFIRST BANCSHARES INC	829.73	768.73	4,563	664,399	金融
U.S. PHYSICAL THERAPY INC	332.58	302.22	3,236	471,186	ヘルスケア
NVE CORP	130.9	76.54	599	87,236	情報技術
FOX FACTORY HOLDING CORP	1,066	722.73	8,057	1,173,203	一般消費・サービス
HEICO CORP-CLASS A	387.5	-	-	-	資本財・サービス
AUTO TRADER GROUP-UNSP ADR	45,003.23	29,403.17	5,703	830,490	コミュニケーション・サービス
GOOSEHEAD INSURANCE INC-A	666.28	401.25	2,520	366,948	金融
GROCERY OUTLET HOLDING CORP	858.95	-	-	-	生活必需品
OPORTUN FINANCIAL CORP	691.91	578.95	399	58,163	金融
RIGHTMOVE PLC-UNSP ADR	5,049.28	3,357.01	4,931	718,018	コミュニケーション・サービス
OMEGA FLEX INC	328.6	237.34	1,981	288,548	資本財・サービス
OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDI	622.92	428.83	3,196	465,472	一般消費・サービス
AVALARA INC	430.4	-	-	-	情報技術
BLACKLINE INC	705.45	441.83	2,306	335,804	情報技術
MESA LABORATORIES INC	60.55	50.03	701	102,126	ヘルスケア
NATIONAL RESEARCH CORP	608.02	418.18	1,780	259,256	ヘルスケア
BILL HOLDINGS INC	609.34	399.49	4,191	610,333	情報技術
DUCK CREEK TECHNOLOGIES INC	3,683.42	-	-	-	情報技術
MEDIAALPHA INC-CLASS A	1,725.95	1,192.86	1,053	153,359	コミュニケーション・サービス
OLO INC - CLASS A	664.48	2,560.43	1,707	248,656	情報技術
RYAN SPECIALTY HOLDINGS INC	2,829	1,946.02	8,731	1,271,348	金融
DREAM FINDERS HOMES INC CLASS A	1,511.01	980.28	2,832	412,343	一般消費・サービス
NCINO INC	781.13	1,340.81	3,933	572,781	情報技術
ASPEN TECHNOLOGY CORP	172.99	118.84	2,276	331,527	情報技術
HOLLEY INC	2,898.92	2,598.68	2,026	295,126	一般消費・サービス
REVOLVE GROUP CLASS A INC	1,564.72	1,381.96	2,267	330,191	一般消費・サービス
ファンド合計	株数、金額 78,305.58 34銘柄	51,759.02 29銘柄	97,276	14,163,497	<93.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 14,163,497	% 92.7
コール・ローン等、その他	1,109,128	7.3
投資信託財産総額	15,272,626	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝145.60円です。  
(注3) 当期末における外貨建純資産（15,206,092千円）の投資信託財産総額（15,272,626千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月15日現在

項目	当期末
(A) 資産	15,461,025,089円
コール・ローン等	1,106,041,776
株式(評価額)	14,163,497,955
未収入金	188,398,600
未収配当金	3,086,758
(B) 負債	292,250,230
未払金	189,250,230
未払解約金	103,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	15,168,774,859
元本	8,824,442,681
次期繰越損益金	6,344,332,178
(D) 受益権総口数	8,824,442,681口
1万口当り基準価額(C/D)	17,189円

\* 期首における元本額は13,415,957,422円、当作成期間中における追加設定元本額は328,700,446円、同解約元本額は4,920,215,187円です。  
\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：米国小型株サステナブルグロース・ファンド 8,824,442,681円  
\* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,189円です。



■損益の状況

当期 自2022年8月16日 至2023年8月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	96,101,888円
受取配当金	87,311,750
受取利息	8,904,859
支払利息	△ 114,721
(B) 有価証券売買損益	1,082,553,372
売買益	3,469,469,265
売買損	△2,386,915,893
(C) その他費用	△ 5,887,880
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,172,767,380
(E) 前期繰越損益金	7,706,050,057
(F) 解約差損益金	△2,715,784,813
(G) 追加信託差損益金	181,299,554
(H) 合計(D + E + F + G)	6,344,332,178
次期繰越損益金(H)	6,344,332,178

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■ファンド名称の変更について

以下の通りファンド名称を変更する予定です。(変更実施日：2023年11月9日)

現行	変更後
米国小型株サステナブルグロース・マザーファンド	米国小型株グロース・マザーファンド